社会の中に活きる大学

-市民と専門家をつなぐ活動の意義と課題-

市民と専門家の熟議と協働のためのネットワーク(DeCoCiS.net)設立に向けて

11119

現在、社会の中の科学技術のあり方が問われています。こうした問題への取り組みでは、中長期的視点に立った、持続的な市民と専門家の熟議と協働が求められます。

「市民と専門家の熟議と協働のための手法とインタフェイス組織の開発」 (以下、DeCoCiS)プロジェクトでは、そのために必要な「市民と専門家をつなぐ組織」について、研究と実践を重ねてきました。そしてこのたび、その活動の輪を広げるために、同様の活動をしている組織と連携し「DeCoCiSネットワーク」を設立することになりました。

このシンポジウムでは、市民と専門家をつなぐインタフェイス組織の背景にある理念や研究実践について、私たちの研究成果だけでなく、国内の他組織の取り組みも交えて具体的にご紹介いたします。その上で、このような組織が社会にある意義や期待される役割、あるいは、それぞれの組織の取り組みの特色を組み合わせ「今後、国内外で市民と専門家をつなぐ活動をいかに展開していくのか」という将来ビジョンについて、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

日時: 11月19日(土) 10:00-17:30 (開場 09:30)

場所: 中之島センター 10階佐治敬三メモリアルホール

アクセス http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/

主催:市民と専門家の熟議と協働のための手法とインタフェイス組織の開発

(DeCoCiS) プロジェクト

参加費: 無料 定員200人 (要事前申し込み)

連絡先・問い合わせ窓口:

参加を希望される方は、

「所属、氏名、連絡先(メールアドレス)」

をご記入の上、

【office[at]decocis.net ([at]を@に変えてください)】

宛にお申し込みをお願いします。

受信確認のメールをお送りします。

■プログラム

10:00 開会挨拶 中島秀人(東京工業大学)

10:30-12:40【第1部:インタフェイス組織】 三上直之(北海道大学)

管波完(認定NPO法人高木仁三郎市民科学基金) 山内保典(大阪大学)·春日匠(大阪大学)·加藤和人(京都大学)

14:00-15:20【第2部:DeCoCiSネットワーク】 伊藤真之(神戸大学), 平川秀幸(大阪大学)

15:50-17:30【第3部:パネルディスカッション】 ・コメンテータ:城山英明(東京大学)

